

令和3年度 石神町会総会書面決議について

会長 豊田 勝良

日頃より、町会運営・活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

定期総会について書面決議した結果、全ての議案に関して賛成過半数により、可決成立いたしましたのでご報告いたします。

コロナ禍の中、町会運営・活動にまだまだ制限しなくてはならないようです。また、コロナワクチン接種が始まり、東京オリンピック・パラリンピックも控えてますが、まだまだ安心で

きません。

会員の皆様には、引き続き十分健康にご留意されますようお願い申し上げます。



今回の写真は、都立石神井公園 野草観察園にて撮影

各部のお知らせ

総務部

練馬区内のオリンピック聖火リレー

色々議論されてきたオリンピックですが、開催は決定。しかし観戦の仕方が当初とだいぶ異なり、各競技場で観戦出来る観客の上限数が設定され、場合によっては無観客とすることもありうると決定されました。直接関わられるのは、各地を回る聖火リレーだけになりそうです。



7月17日(土)に、練馬区内の聖火リレーは、準備も含めて16時00分から19時00分の間、雨天に関係なく行われる予定になっています。

17時39分に出発。出発点の富士街道「りそな銀行前」から、「かごの屋前」、「消防署前」のそれぞれ中継点を経て「谷原交差点」、「目白街道」、「練馬区役所経由練馬総合運動場公園」に至るコースです。

その間、周辺道路の交通規制、リレー沿道の観衆・雑踏の整理、歩道側のコーン、バー、立入禁止テープ等の設置・撤去のサポート等の仕事があります。練馬区から石神町会に出発点であるりそな銀行前の沿道整理の要請があり、町会役員の有志を中心に18名でボランティア参加することになりました。予定どおり聖火リレーが行われることになればマスク着用、3密を防止し、事故なく安全に進行出来るようサポートしようと思っています。

<昔の富士街道>

今回聖火が走る富士街道は、練馬区では最も古く1200年程前、当時国府があった府中に至る街道として作られたそうです。

右の写真は、聖火がバトンされる地点近く、石神井庁舎付近から富士街道を西に見た昭和10年頃のものであり、現在との違いに驚かされます。この写真は、赤井喜一郎氏が所蔵されているものです。



社会活動を根幹から揺さぶっているコロナ感染。三密を避けて生活しても、消極的な対策としてのそれだけでは、中々感染を有効に制御できず、社会のどこでも従来の仕事が予定通りにはできなくなっています。町会の活動も休止状態が続いてきました。やっと積極的に感染予防できる盾としてのワクチン接種が実現化されても、国、自治体、区の思惑や体制の違いで、毎日急激に接種条件が変わります。一方、鉾としての特効薬や感染拡大の原因究明は不十分で今後も予測できない感染拡大の恐れがあり今もコロナに翻弄され続けている毎日。こんな揺れ動く地盤の上では、確かな事だけを伝える筈の「町会便り」の発行は難しく、何か伝えてもすぐ訂正しなければならない状況に陥ります。お知らせした「聖火リレー」の予定も、事態の変化によっては中止になるかもしれません。ご承知おき下さい。今後、事態がもっと好転し、従来からの町会の活動が再開できればいいなと切に思います。

防犯部

コロナ禍の状況に特有な犯罪にご注意

多くの方が不要不急の外出を自粛して自宅に居る事が多い昨今、発生している犯罪もいつもとは違うようです。石神井警察署の管轄地域で、今年5月末までに発生した犯罪の集計によると。

1. 家人が自宅に居ない留守時を狙って盗みに入る「空き巣」は、14件。例年より22件も少なかった。とりわけ石神井町では、0件だったそうです。自宅待機を強いられたコロナ禍の良かった点ですね。

2. しかし、逆にこの特異な状況下で特有の犯罪が増えており注意が必要だそうです。住人が自宅に居る事を見越して、「振り込め詐欺」が、昨年より2件増えて26件発生。石神井町が一番多く6件もありました。

コロナの完全収束は未だ先のようなのですが、そのコロナ対策のウイルスや給付金を騙す口実にした詐欺も増えているそうです。何か変だと思ったら、ためらわずに警察に電話を！

3. また家に訪問して、消火器を「押し売り」する悪質商法が流行っているそうです。「買わない」「必要ない」「帰って下さい」と、断固とした言葉で撃退するのが大事です。それでもしつこく帰らない場合は、警察に遠慮せず連絡を！

石神井警察署 ☎3904-0110（内線2162）防犯係に。

リサイクル部

ご存じですか

町会の廃品回収で自転車回収があるのはご存知ですか… 年4回、回収場所は2か所で行っています。

自転車を出す場合は金属部分のみの回収なので、タイヤを切断し、荷台の籠や子供用の椅子、サドルを取り外さなければいけません。外したタイヤ、籠、椅子はリサイクル部で処分しています。タイヤは可燃ゴミとして家庭ゴミと一緒に処分していますが、かご、椅子は粗大ゴミ扱いなので、有料（1個400円）にて区で回収してもらっています。

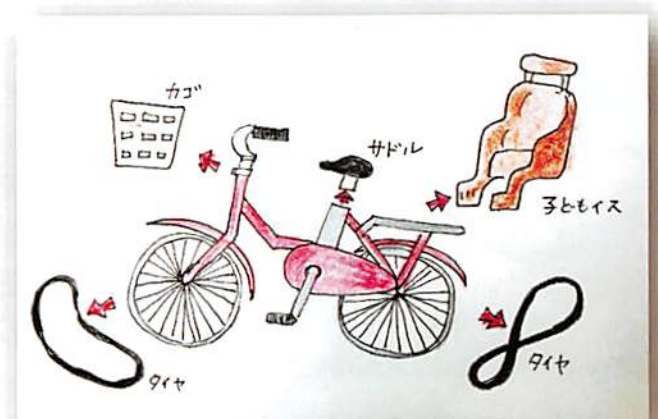
この作業に当たっている部員の高齢化、人員不足のため、今後作業が困難となってきます。役員会にて実態を報告したところ、再検討することとなりました。

皆様のご意見をお聞かせください。

但し、今年度は予定通り回収いたします。ご協力をお願いします。

ご参考までに、区の回収ですと16インチ以上の自転車1台につき800円かかります。

渡辺 ☎5393-1023



石神井神社

コロナ禍で遠出が憚れるなか、足元を見つめ直そうと石神井町の名の由来と伝わる石神井神社に行ってきました。スーパーのライフを右手に見て北に進むと二叉路となり、右の道を行くと右側の横道に鳥居らしきものが見えます。境内は綺麗に掃き清められていてアジサイが満開。巨木の銀杏や樺が聳え、ここが古くから神社であったことが窺えます。

講元の案内で鳥居の先にある社殿の中に入りました。大きな絵馬が幾つも掲げられており、明治20年代に奉獻されたものも。130年程前なのに保存状態は良く、軍記物語や神話の題材を極彩色で描いた絵は、今も鮮やか。平家を攻める源義経一行の軍勢が、鶴越えに集結、これから攻め落とす眼科の平家の陣を見下ろしている絵。もっと古く神代、岩屋にお隠れになった天照大神が、神々の努力で岩屋から出られた時の絵など。様々な主題が面白い。

絵馬と並んで、この神社の信者が講を組み、霊山を詣でたのを記念した奉納板も掲げられています。富士山参拝、大山阿夫利神社代々神楽記念、榛名神社大々神楽記念、第六十回伊勢神宮式年遷宮参拝記念、御嶽神社代々神楽記念、など奉納活動を記念した奉納板。現在、この神社の氏子は41名。そこから毎年4人が選ばれた、今も武蔵御嶽神社、榛名神社に代理参拝しているそうです。



格子で仕切られた向こうに内陣があります。昔、この辺りで井戸を掘った時に、石剣が出土。この石剣を靈験あらたかなご神体、石神と崇め、社を建てて祀った。石神が井戸から出たので、社を石神井神社と名付けという。伝説上のことか、史実か。夢のような話です。

しかし、この石神を代々守り続けている家の方には、単なる伝説ではありません。大事な石神は今も現存し、社の内殿奥に門外不出で置かれているのです。しかも、この石が出た井戸も神社の近くに今もあり、以前は注連縄さえ掛けられていた。



石剣と云われるこの石棒を直接拝見した人の話では、形は石剣ではなく、60cm程の陽根状の石だったとのこと。神社や神概念などより古い創生期の宗教祭祀の遺品とみなすと、これを見た村人達が太古から変わらない深層の宗教心を刺激され、敬ってきたのだと納得でき、伝説は現実味を帯びてきます。保存は重い現実ですが、地元の大事な夢の中心として今後も守り子孫を残しておいて欲しいですね。

